

Canon



imageRUNNER ADVANCE C2230/C2220 C2218F-V

実物大デモンストレーションツール

Contents

操作パネルについて.....	2
ユーザーインターフェイス....	4
メニュー.....	6
コピー.....	10
ファクス.....	12
スキャンして送信.....	16
アドレス帳.....	18
文書の電子化.....	20
スキャンして保存.....	24
保存ファイルの利用.....	26
設定/登録.....	28



操作パネルの各部名称



- 1 タッチパネルディスプレイ**
各機能の設定画面が表示されます。初期設定では6個のファンクションキーと4個のショートカットキーが表示されます。
- 2 テンキー**
数値を入力するときに押します。
- 3 節電キー**
本製品をスリープ状態にしたり、スリープ状態を解除したりするときに押します。本製品がスリープ状態に入るとボタンが点灯し、スリープ状態が解除されると消灯します。
- 4 設定／登録キー**
各種の登録や機能の設定をするときに押します。
- 5 カウンター確認キー**
タッチパネルディスプレイにコピーやプリントの総枚数を表示するときに押します。
- 6 ストップキー**
読み込みジョブ、コピージョブ、ファクスジョブ（読み込みのみ）などの進行中の動作を止めるときに押します。
- 7 操作ペン**
タッチパネルディスプレイを操作するときに使用します。
- 8 スタートキー**
動作（読み込み）を開始するときに押します。
- 9 主電源ランプ**
本体主電源が入っているときは点灯、入っていないときは消灯しています。
- 10 エラーランプ**
本製品にトラブルが発生したときに点滅または点灯します。点滅の場合はタッチパネルディスプレイに表示されるメッセージに従ってトラブルの対処をしてください。エラーランプが赤色に点灯し続ける場合は担当サービスへ連絡してください。
- 11 実行／メモリーランプ**
本製品が動作中は緑色に点滅します。待機中のジョブやメモリー受信文書があるときは緑色に点灯します。
- 12 クリアキー**
入力した数字や文字を取り消すときに押します。
- 13 リセットキー**
設定したモードを標準モードに戻すときに押します。
- 14 ID(認証)キー**
部門別ID管理やSSO-Hなどのログインサービスを使用している場合、ログイン／ログアウトするときに押します。
- 15 輝度調整ダイヤル**
画面の明るさを調整します。
- 16 音量調整キー**
ファクス送信・受信のアラーム音量や通信音量などの調整画面を表示させたいときに押します。

7インチ 大型液晶タッチパネルの採用

従来機で採用されていた5.7インチのVGA (640 x 480)フルカラー液晶タッチパネルを、7インチのWVGA (800 x 480)フルカラー液晶タッチパネルに刷新。小規模オフィスでも場所をとらず快適に操作できるようさらなる工夫を凝らしています。



操作パネルにチルト機構を採用

操作部は、9度と55度の2段階に角度変更が可能のため、見やすさと使いやすさが向上しています。独自性を追求しながらも、imageRUNNER ADVANCEシリーズ全体で操作の一貫性を実現します。



この「実物大デモンストレーションツール」は、imageRUNNER ADVANCE C2230/C2220/C2218F-Vの機能で説明しています。imageRUNNER ADVANCE C2220ではオプションが必要な場合があります。

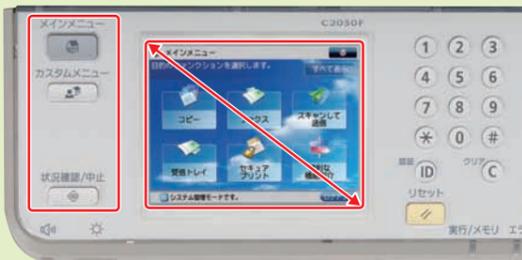
↑ imageRUNNER ADVANCE C2230F

1つの画面から目的の機能にアクセス

メインメニューから、使いたい機能に簡単にアクセスすることができます。
また、分かりやすい名称で「何ができる」かがすぐに分かります。

従来の操作画面は…

- 5.7インチのVGAフルカラー液晶タッチパネル
- 「メインメニュー」、「カスタムメニュー」、「状況確認/中止」キーはハードキーを採用

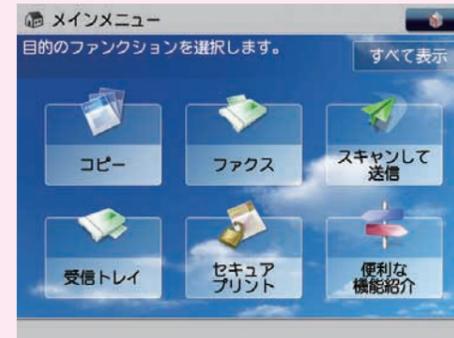


imageRUNNER ADVANCE C2230/C2220/C2218F-V のインターフェイスは…

- 液晶タッチパネルが7インチに拡大
- 「メインメニュー」、「カスタムメニュー」、「状況確認/中止」キーはタッチパネル内のソフトキー化で操作性アップ
- タッチパネル画面左部にショートカットボタンを配置。最大4つまで表示可能



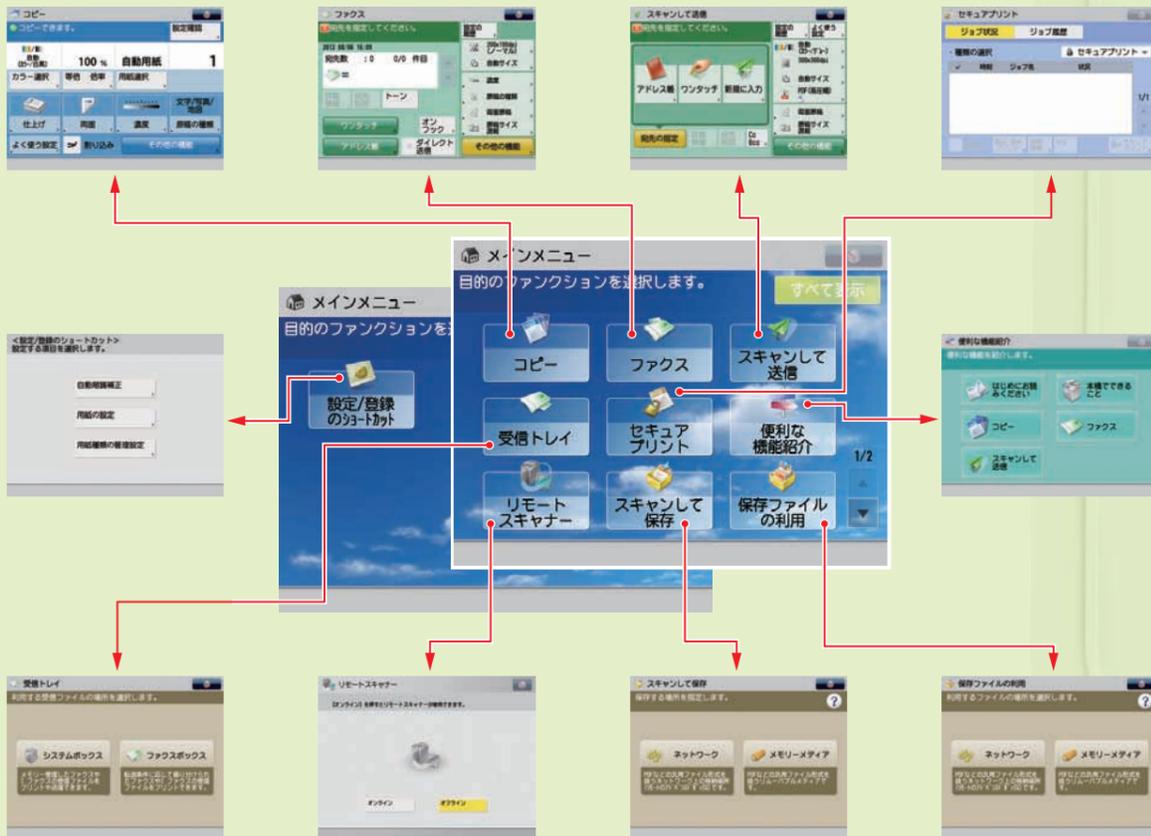
メニュー画面について



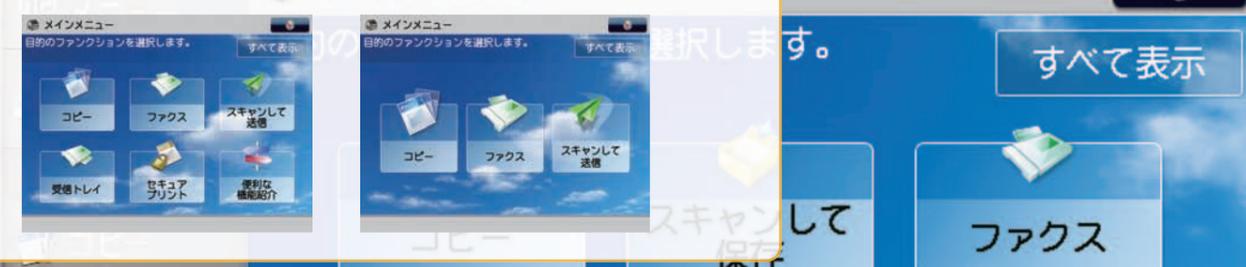
- コピー …コピーするとき
- ファクス …ファクスをするとき
- スキャンして送信 …スキャンして送信するとき

- 受信トレイ …受信したファクスを確認するとき
- セキュアプリント …セキュアプリントするとき
- 便利な機能紹介 …便利な機能紹介を確認するとき
- リモートスキャナー …PC からスキャンするとき
- スキャンして保存 …親機のアドバンスドボックスや USB メモリーにスキャンした文書を保存するとき
- 保存ファイルの利用 …親機のアドバンスドボックスや USB メモリーに保存されているファイルを利用するとき
- 設定/登録のショートカット …自動階調補正や用紙の設定を行うとき
- ウェブブラウザ …ウェブブラウザを利用するとき

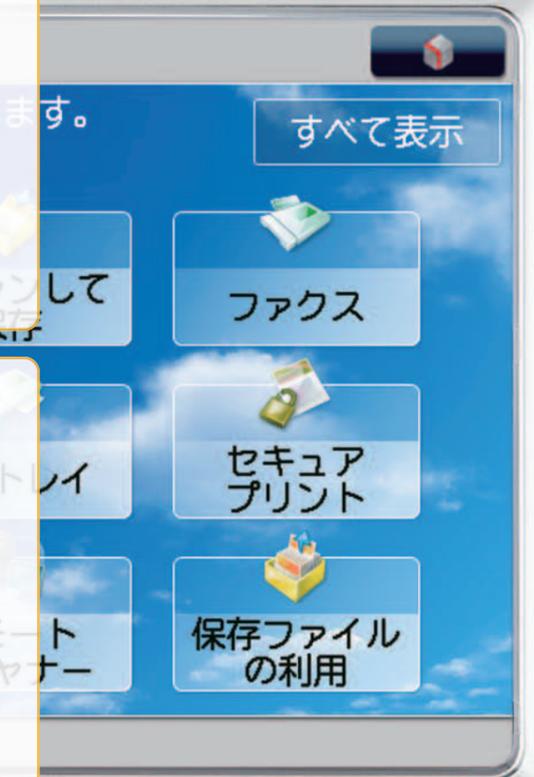
メインメニューにすべての機能を表示させることにより、使いたい機能へアクセスしやすくなっています。



メインメニューのボタン配置を使いやすいようにカスタマイズすることもできます。



タッチパネルディスプレイの左部分に機能のショートカットボタンを4つまで表示させることができます。
表示させるショートカットボタンを押したあと、ショートカットに登録する機能を選択します。



表示するボタンの数や背景の変更、ファンクションのショートカット(ボタン)の表示など、使いやすいようにメインメニュー画面の表示をカスタマイズすることができます。

メインメニュー画面の変更のしかた

Example メインメニューのボタン表示を3つのボタンに変更する場合

メインメニューのボタン表示を変更する

1. [設定] を押し、[メインメニューのボタン表示設定] を押す

2. [◀][▶] を押してボタン3つのレイアウトを選択する
※表示するボタンの数は、3個～9個の間で選択できます。

3. 機能を選択し、[上へ移動][下へ移動] を押してボタンの表示位置を設定する
※この操作を繰り返し、ボタンの表示順を設定します。

ボタンの表示順を設定したら [OK] を押す

ボタン表示設定の変更完了

メインメニューのカスタマイズ例

↑メインメニューのボタンレイアウトを変更した場合

↑メインメニューの背景を変更した場合

↑メインメニューのボタンレイアウトを6つに変更した場合

↑「表示言語/キーボード切替」、「設定/登録」のショートカットを表示した場合

NOTE メインメニューをカスタマイズするためにはシステム管理者としてログインする必要があります。

メインメニュー画面の設定について

1 <メインメニューのボタン表示設定> ボタンのレイアウトと割り付けられるファンクションを設定できます。

メインメニューのボタンレイアウトや表示する順番を変更します。

3 <メインメニューの背景設定>

メインメニューの背景を変更できます。

2 <ファンクションのショートカットボタン設定> 任意のファンクションをショートカットとして登録します。

タッチパネルディスプレイの左部分にファンクションのショートカットボタンを4つまで表示できます。

4 <メインメニューのその他の設定>

メインメニューに「表示言語/キーボード切替」、「設定/登録」のショートカットを表示するかどうかを設定します。

カスタムメニューについて

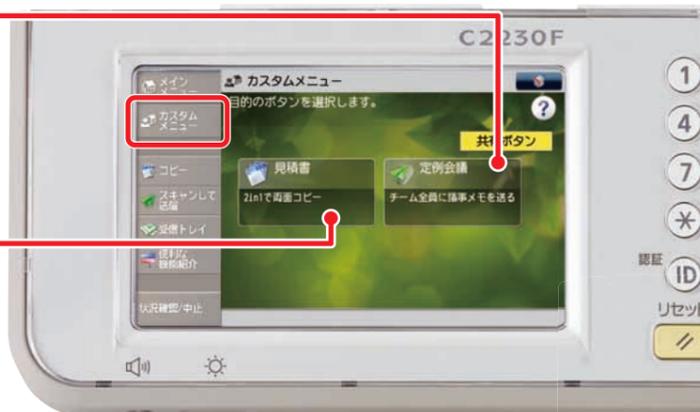
カスタムメニューは、よく使用する機能設定のボタンを作成し、それぞれのボタンをひとつのメニュー画面にまとめることにより、ワンタッチでジョブをスタート・完了させる定型的な業務を効率化する機能です。毎回決まった部数をコピーする会議資料を印刷してステイブルするというような一連の工程をワンタッチで実行できるほか、異なる機能を1画面に表示させることが可能なので、コピーはコピー画面で、ファクスはファクス画面に換えて操作するといった面倒な操作が不要。さまざまな機能を効率的に使うことができます。

定例会議用資料のファクス送信

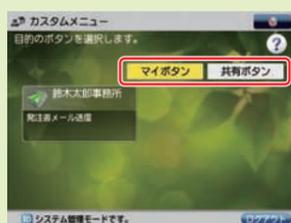
- ・解像度 ファイン
- ・倍率 等倍
- ・サイズ A4
- ・宛先指定
- ・指定した宛先に送信を処理

見積書のコピーを作成

- ・倍率 等倍
- ・サイズA4
- ・モノクロ
- ・1部コピー
- ・片面→両面コピー
- ・1枚に2ページをコピー(2 in 1)を処理



マイボタンと共有ボタン



カスタムメニューは、個人で使用する「マイボタン」と、社内共通で使用する「共有ボタン」に分けて登録できます。

●マイボタン

マイボタンは、認証されたユーザーそれぞれが独自のカスタムメニューとして作成できます。自分が登録したマイボタンは、他の人のカスタムメニューには表示されません。一人のログインユーザーが登録できるボタン数は最大8個までです。全体の合計では最大で1600個まで登録できます。

●共有ボタン

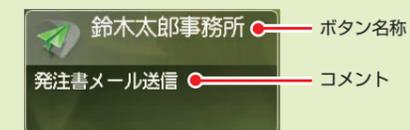
すべての人のカスタムメニューに表示され、使用することができます。最大で8個まで登録できます。

認証時のデフォルト画面について：

認証後に表示するボタンを「マイボタン」と「共有ボタン」から選択することができます。カスタムメニュー画面から を押し、[カスタムメニューの使用制限] を選択、[認証時のデフォルト画面] から選択します。

カスタムメニューのボタン表示

カスタムメニューに表示されるボタンには、作業内容と直結したボタン名を登録できます。また、より作業内容を分かりやすくするためにコメントを入れることもできます。



カスタムメニューのボタンレイアウト

カスタムメニューは、コメント表示付きの「ボタンサイズL」と、ボタン名称のみの「ボタンサイズS」のいずれかに設定することができます。



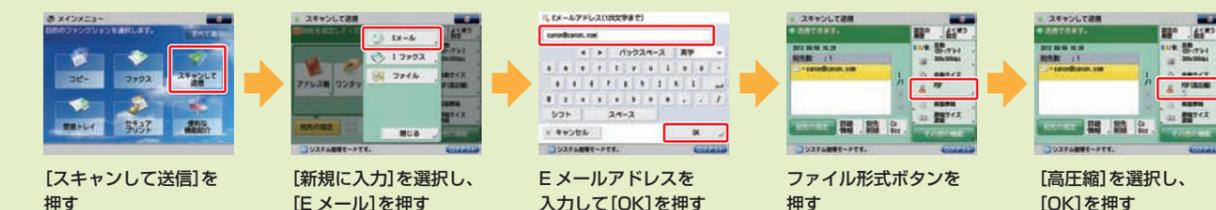
ボタンを押したときの動作について

ボタンを押すと同時にジョブがスタートするだけでなく、必要に応じて内容を確認したり、設定の追加や変更ができるように、ボタンを押したときの動作を設定することができます。

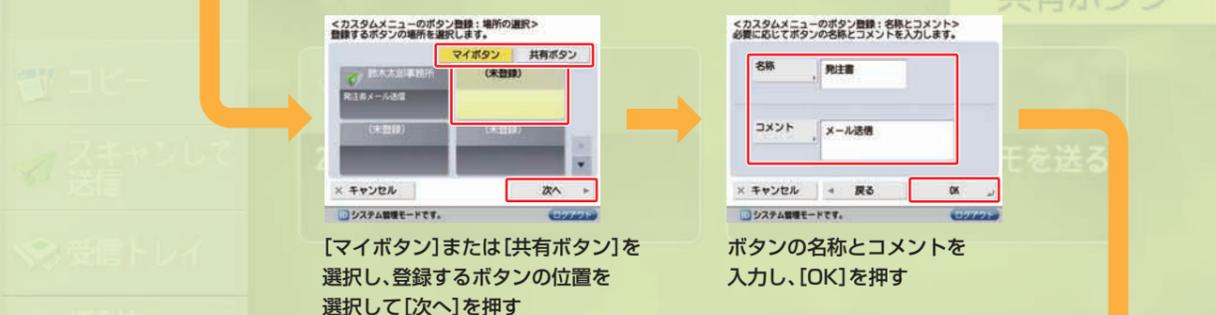
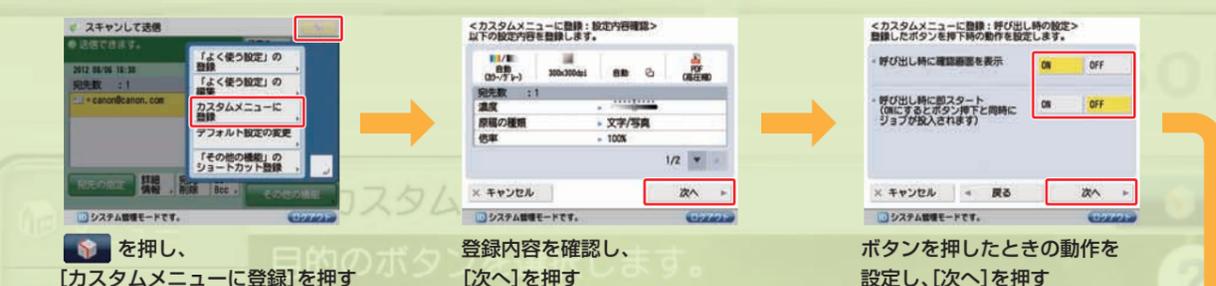
カスタムメニューの登録のしかた

Example スキャンして、高圧縮 PDF に変換したファイルを E メールで送信する場合

① 登録する機能を設定する



② カスタムメニューに登録する

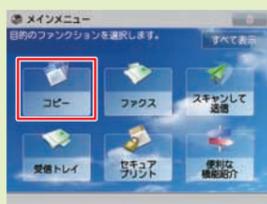


メインメニュー画面から[コピー]を押すと、コピー基本画面が表示されます。この画面から操作して、様々なコピー機能を活用することができます。

コピーのしかた

Example 2 in 1 (ページ集約)コピーをする場合

① 原稿をセットする



[コピー] を押す

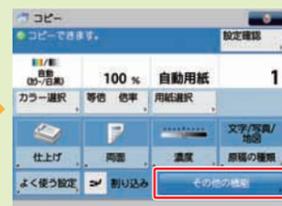


原稿をセットする

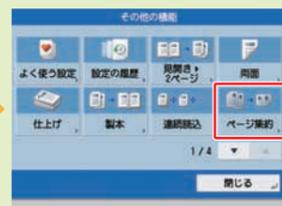
② コピーのしかたを設定する



カラー選択、倍率、用紙選択などを設定する



[その他の機能] を押す



[ページ集約] を押す



[2 in 1] を押し、[OK] を押す
※必要に応じて「両面設定」、「詳細設定」を押してレイアウトなどを設定します。

③ コピーする



テンキーで必要なコピー枚数(部数)を入力する



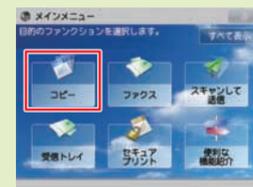
スタートキーを押す

製本コピーに対応

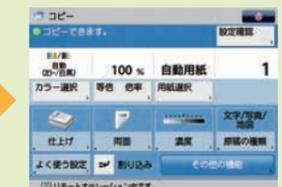
C2230/C2220/C2218F-Vでは、従来のC2000シリーズにはなかった「製本コピー」機能が採用されています。

「よく使う設定」の登録とショートカットへの設定のしかた

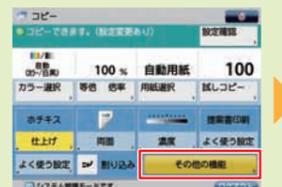
① 「よく使う設定」へ登録する



[コピー] を押す



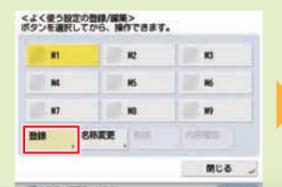
登録するコピーモードを設定する



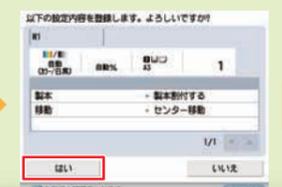
[その他の機能] を押す



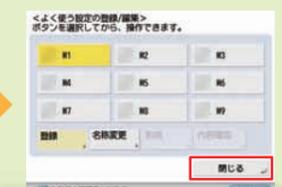
[よく使う設定] を押す



登録するボタンを選択→
[登録] を押す

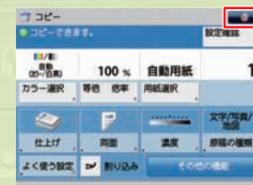


[はい] を押す



[閉じる] を押す

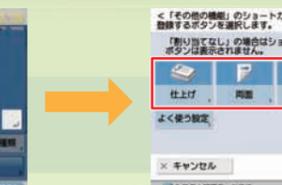
② ショートカットへ割り当てる



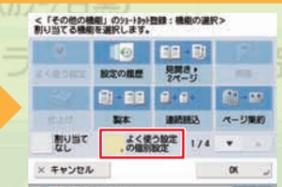
<コピー画面>右上の
を押す



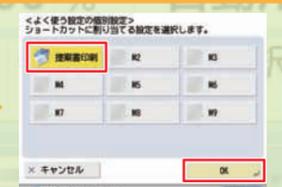
メニューから「[その他の機能]の
ショートカット登録」を押す



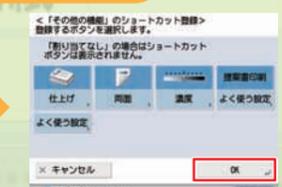
登録するボタンを選択する



[よく使う設定の個別設定]
を押す

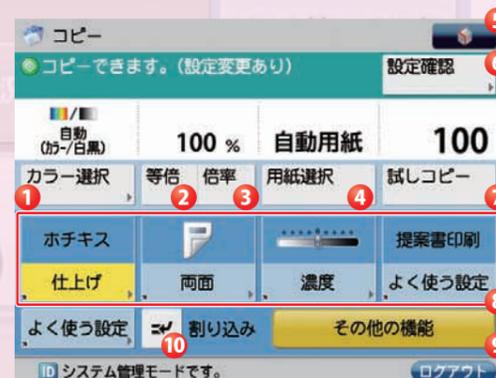


割り当てるよく使う設定を
選択し、[OK] を押す



[OK] を押す

コピー画面の操作について



- 1 カラー選択
プリントする色を選択するときに押します。
- 2 等倍
原稿と同じサイズでコピーします。
- 3 倍率
コピーの倍率を設定します。
- 4 用紙選択
用紙のサイズや種類、給紙位置を選択します。
- 5 次の設定ができます。
・「よく使う設定」の登録 / 編集
・カスタムメニューに登録
・デフォルト設定の変更
・「その他の機能」のショートカット登録
- 6 設定確認
コピーモードの設定内容を確認、変更、または取り消します。
- 7 試しコピー
複数部のコピーをする前に、コピー結果を確認できます。
- 8 その他の機能のショートカット
その他の機能のショートカットです。デフォルトでは [仕上げ]、[両面]、[濃度]、[原稿の種類]、[よく使う設定] が設定されています。
- 9 その他の機能
その他の機能を設定します。原稿読み、製本、移動、ページ編集、加工、レイアウト、画像調整などの機能を設定できます。
- 10 割り込み
予約中またはプリント中のジョブに割り込んでコピーします。

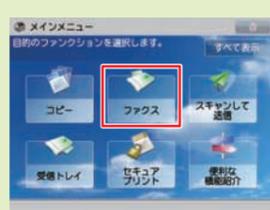
ファクス送信は、Universal Send から独立した操作になっています(単独モード)。ファクス送信機能を Universal Send から独立させることによってファクスの誤送信を抑止することができます。また、従来のように Universal Send でファクス送信できるように設定することも可能です。

ファクスの送信先は、最大で256件まで指定できます。グループを宛先とした場合、そこに登録されている各宛先を1件としてカウントします。

ファクス送信のしかた

Example ファクス番号を入力して送信する場合

① 原稿をセットする



[ファクス] を押す



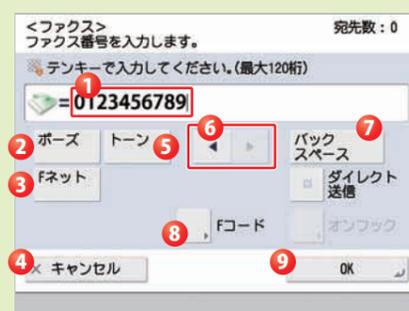
原稿をセットする



ファクス番号はあらかじめ登録したワンタッチボタンやアドレス帳から選択することもできます(入力する必要がありません)。

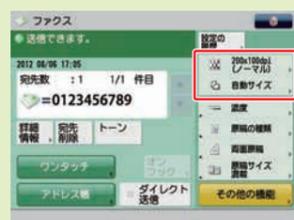
② テンキーで送信先のファクス番号を入力する

- 1 入力したファクス番号が表示されます。
- 2 ポーズ (p) を入力します。
- 3 F ネットのファクス番号を入力します。
- 4 ファクス番号の入力をキャンセルします。
- 5 ダイヤル回線でトーン信号を送るときに押します。



- 6 カーソルを移動します。
- 7 カーソル前の数字を削除します。
- 8 Fコード、パスワードを入力します。
- 9 入力したファクス番号を確認します。

③ 読み取りのしかたを設定して送信する

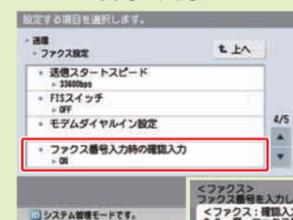


読み取りのしかたを設定する
※必要に応じて[設定の履歴]、
[その他の機能]を押して設定します。



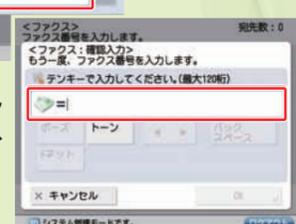
スタートキーを押す

「ファクス番号確認入力」が「ON」に設定されている場合は、スタートキーを押した後もう一度同じファクス番号を入力するための画面が表示されます。



ファクス番号
確認入力の設定

スタートキーを押した後、再度ファクス番号を入力



ファクス画面について



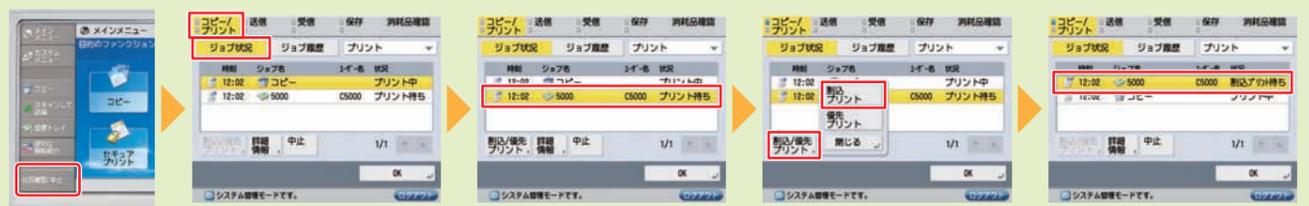
- 1 宛先数
指定した宛先の数を表示します。
- 2 宛先
テンキーで直接入力した宛先を表示します。
- 3 次の設定ができます。
・カスタムメニューに登録
・デフォルト設定の変更
・「その他の機能」のショートカット登録
・ユーザーごとの情報の登録 / 編集
[ユーザーごとの情報の登録 / 編集] は、SSO-Hなどのログインサービスでユーザー管理を行っている場合にのみ表示されます。
- 4 設定の履歴
設定されていた3つ前までの宛先、読み設定、送信設定を呼び出します。
- 5 <解像度>
解像度を指定します。
- 6 <読取サイズ>
原稿の読み取りサイズを指定します。
- 7 「その他の機能」のショートカット
その他の機能のうち、いくつかをショートカットとして表示できます。デフォルトでは[濃度]、[原稿の種類]、[両面原稿]、[原稿サイズ混載]が設定されています。
- 8 その他の機能
その他の機能を設定します。異なるサイズの原稿をいっしょに送信する場合や両面原稿を送信する場合など、便利なファクス送信機能を設定します。
- 9 オンフック
手動送信、プッシュホンサービスを利用します。スーパー G3FAX ボード装着時に表示されます。
- 10 ダイレクト送信
ダイレクト送信します。ダイレクト送信を設定しないときはメモリー送信になります。
- 11 ワンタッチ
ワンタッチボタンを登録 / 指定する画面を表示します。
- 12 アドレス帳
アドレス帳(ローカル、リモート、LDAPサーバ)から宛先を検索します。
- 13 トーン
ダイヤル回線から、プッシュ信号を入力します。[トーン]を押すと、「T」と表示されます。ダイヤル回線に接続している場合でも、プッシュホンサービスなどを利用できます。
- 14 宛先削除
選択した宛先を削除します。
- 15 詳細情報
選択した宛先の確認や変更をします。

ファクス誤送信を防ぐ機能

- ①ファクス番号入力時の確認入力
間違った番号の入力を防ぐため、確認入力を行う画面を表示するように設定できます。
- ②ファクス同報送信の制限
ファクスの同報送信を制限することができます。一度に複数の宛先に送信するのを制限することで、ファクスの誤送信を防ぐことができます。
- ③ファクス宛先を含む場合に確認画面を表示
ファクスを送信しようとする、宛先を再確認するための確認画面を表示することができます。
- ④リダイヤルの使用を制限する
ファクスの送信履歴から、再送信を制限できます。間違ったファクス番号で送信してしまった場合、誤送信の再発を防ぐことができます。



ファクス受信文書の割り込みプリントのしかた



[状況確認/中止] ボタンを押して、<状況確認/中止>画面を表示する

[コピー/プリント] → [ジョブ状況] を押す

割り込みプリントしたいファクス受信文書を選択する

[割り込み/優先プリント] を押して、[割り込みプリント] を選択する

ジョブ状況内のプリント待ちの順序が変更され、指定したファクス受信文書が割り込まれる

ファクス受信文書を自動的に割り込みプリントに対応させるには？



[設定/登録] を押す。ログインが必要な場合はログインする

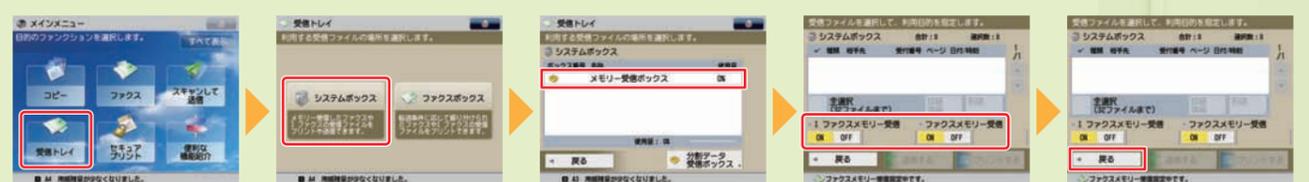
[ファンクション設定] を押す

[受信/転送] → [共通設定] を押す

[受信ジョブの割り込みプリント] を押す

[ON] → [OK] を押す

メモリー受信の設定のしかた



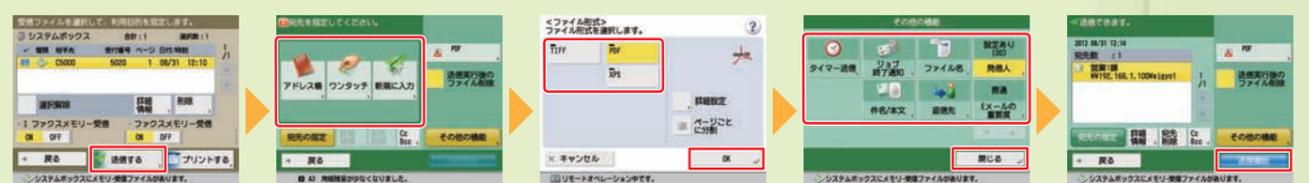
[受信トレイ] を押す

[システムボックス] を押す

[メモリー受信ボックス] を押す

<メモリー受信> 受信トレイ選択画面 / <ファクスメモリー受信> 戻るまで [戻る] を押すを [ON] に設定する

メモリー受信したファクス文書を送信する



メインメニューの [受信トレイ]、[システムボックス]、[メモリー受信ボックス] を順次選択、[送信する] を選択する

宛先を指定する

ファイル形式ボタンを押して、ファイル形式を選択する。 [OK] を押す

[その他の機能] を押して、必要に応じた機能を設定する。 [閉じる] を押す

[送信開始] を押す

履歴の確認機能

[状況確認/中止] を押すと状況確認/中止画面が表示され、コピー/プリントジョブ、送信ジョブ、受信ジョブ、保存ジョブの状況を確認したり、変更したりすることができます。

●ジョブ状況

ジョブのプリント優先順位の変更、ジョブの中止、ジョブの詳細情報の確認などを行うことができます。



↑コピー/プリントジョブ ↑送信ジョブ
↑受信ジョブ ↑保存ジョブ

●ジョブ履歴

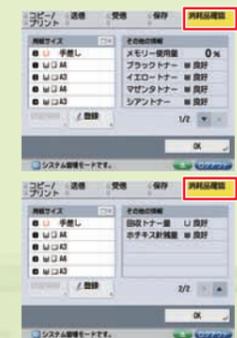
ジョブの詳細情報の確認、ジョブ履歴リストのプリントなどを行うことができます。



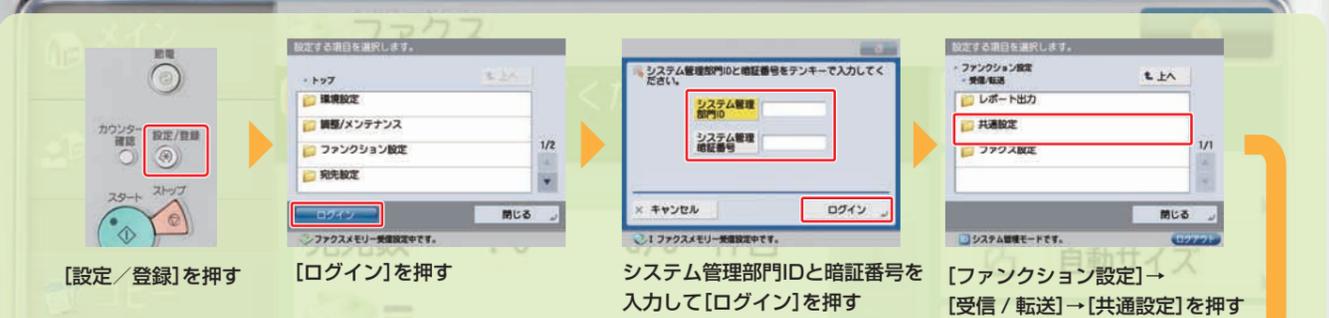
↑コピー/プリントジョブ ↑送信ジョブ
↑受信ジョブ ↑保存ジョブ

●消耗品確認

カセットにセットされている用紙の残量や本製品のメモリー残量、エラーメッセージなどを確認できます。



転送設定の登録のしかた



[設定/登録] を押す [ログイン] を押す
システム管理部門IDと暗証番号を入力して[ログイン]を押す [ファンクション設定] → [受信/転送] → [共通設定] を押す



[転送設定] を押す

[登録] を押す

転送を行うには、[転送条件]の <条件の ON/OFF> を [ON] にしておきます。

以前設定した転送設定を利用する場合は、[1つ前]、[2つ前]または[3つ前]を選択する

新たに転送設定をするには、各項目を入力していく：

- ・[転送条件名]
- ・[転送条件]
- ・[転送先]
- ・[転送先名]
- ・[転送時間指定]
- ・[転送終了通知]
- ・[ファイル形式]

[OK] を押す

転送先がEメールの場合、<Eメールの重要度> ドロップダウンリストを押す → 項目を選択 → [閉じる] を押す

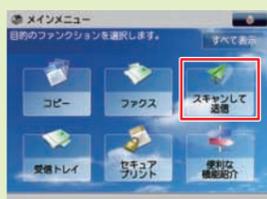
スキャンした原稿を次の手段(複数手段)で一度に256件まで送信することができます。

▶Eメールの添付ファイル、▶インターネットファクスで送信、▶ファクスで送信、▶ネットワーク上のファイルサーバーに送信・保存

スキャンして送信のしかた

Example アドレス帳を利用して送信する場合

① 原稿をセットする



[スキャンして送信]を押す

原稿をセットする

② 宛先を指定する



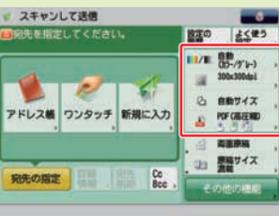
[アドレス帳]を押す

※必要に応じて[ワンタッチ]、[新規に入力]、
[自分へ送信]を押して送信先を設定。

宛先を選択して、[OK]を押す

※複数の宛先を選択することができます。

③ 読み取りのしかたを設定して送信する



- ・カラーモード
- ・解像度
- ・読取サイズ
- ・ファイル形式



読み取りのしかたを設定する

※必要に応じて[設定の履歴]、
[よく使う設定]、[その他の機能]を
押して機能を設定。

スタートキーを押す

●データ(Eメール/Iファクス)送信時のデータサイズ制限

送信データサイズ上限値で送信するデータサイズの上限数を設定できます。

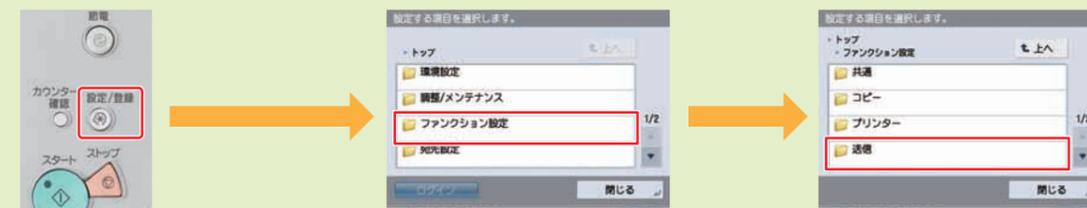
上限値を超えた場合：Eメール - 分割送信

Iファクス - 送信不可能(サーバーの経路が「ON」のとき)

*サーバーの経路が「OFF」のときは、送信データサイズ上限値の設定にかかわらず、送信されるデータサイズは制限されません。

送信データサイズ上限値の設定方法

▶設定/登録▶ファンクション設定▶送信▶Eメール/Iファクス設定▶送信データサイズ上限値を設定する

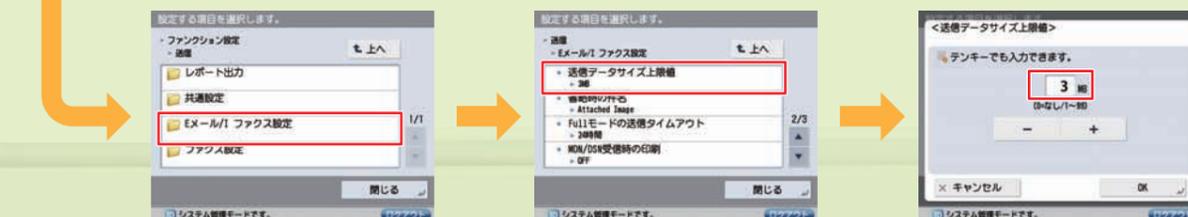


[設定/登録]を押す

ログインが必要な場合はログインする

[ファンクション設定]を選択する

[送信]を選択する

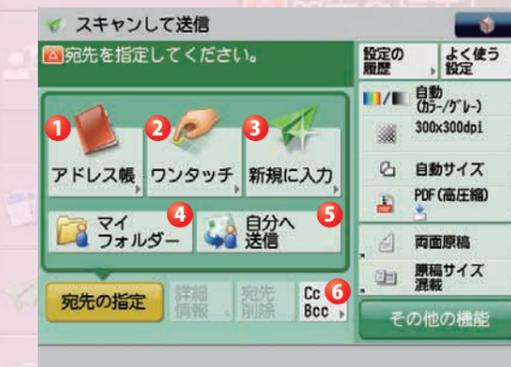


[Eメール/Iファクス設定]を
選択する

[送信データサイズ上限値]を
設定する

上限値を入力する

●スキャンして送信画面について(宛先指定)



- 1 アドレス帳**
宛先がアドレス帳(ローカルアドレス帳/リモートアドレス帳)に登録されている場合はここから宛先を選択します。
- 2 ワンタッチ**
宛先がワンタッチボタンに登録されている場合はここから宛先を選択します。
- 3 新規に入力**
初めての宛先の場合はここから送信方法と宛先を入力します。
- 4 マイフォルダー**
ログインしているユーザー専用のフォルダーで、このフォルダーを宛先として指定できます。
- 5 自分へ送信**
ログインユーザー自身のEメールアドレスを指定できます。
- 6 Cc/Bcc**
指定した宛先のほか、複数の人にCc(Carbon copy)やBcc(Blind carbon copy)でEメールを送信します。

●C2230/C2220/C2218F-Vの送信に関する新機能

- ▶ OOXML PowerPoint形式のスキャンに対応しました。紙文書の共有・再利用の活用がさらに拡大します。
- ▶ Eメール送信を「自分へ送信」に限定(認証SEND機能)：誤送信による情報漏えいを低減するために、Eメール送信の際、送信先をログインユーザー自身のEメールアドレスに限定できます。
- ▶ PDFの下限バージョン指定：PDF作成時にバージョンの下限を設定することができます。
- ▶ PDF/A-1bに準拠したPDFを生成可能：PDFを表示するときの見かけが、機器や閲覧ソフトによって変わらないことが保証されているので、長期保存に適しています。

アドレス帳には、ファクス番号、Eメールアドレス、Iファクスアドレス、ファイルサーバーのアドレスを1600件まで登録することができます。アドレス帳は、本デバイス専用のローカルアドレス帳だけでなく、imageRUNNER ADVANCE C5200シリーズなどの親機(サーバー機)のアドレス帳を利用する(リモートアドレス帳)ことも可能です。

アドレス帳の登録のしかた

Example 新規宛先としてEメールアドレスを登録する場合

① 宛先登録画面を表示する

[スキャンして送信]を押す

[アドレス帳]を押す

[その他の操作]を押す、
[登録/編集]を押す

[新規宛先の登録]を押す

② 新規宛先を登録する

[Eメール]を押す

宛先の名称を入力し、
宛先表(1～10)を選択して、
[次へ]を押す

宛先の名称のフリガナ
を入力し、[次へ]を押す

Eメールアドレスを入力
し、[OK]を押す

アドレス帳の登録完了

その他の宛先を登録する場合

それぞれ、宛先の名称の入力、宛先表(1～10)の選択、宛先の名称のフリガナを入力した後に必要な設定を行います。

↓ファクスの登録

ファクス番号を入力し、Fコードなど詳細を設定する

↓Iファクスの登録

Iファクスアドレスを入力し、相手先の条件を設定する

↓ファイルサーバーの登録

プロトコル(SMB/FTP/WebDAV)を選択し、ホスト名、ユーザー名、パスワードを設定する

↓グループの宛先登録

Eメール、Iファクス、ファイルサーバーなどの宛先を登録する(最大256件)

送信履歴からの宛先登録のしかた

[状況確認/中止]を押す

[送信]、[ジョブ履歴]を選択する

リストから登録したい履歴を選択し、
[宛先の登録]を押す

登録先を選択する(アドレス帳、
ワンタッチ)

登録内容を確認して、
[OK]を押す

アドレス帳画面について

- 宛先の種別(全て/Eメール/ファクス/ファイル/グループ/Iファクス)を選択します。
- 宛先表(1～10)を選択します。
- アドレス帳(ローカル/リモート)を切り替えます。
- 登録されている宛先が表示されます。
- 宛先を頭文字で検索します。
- 宛先を名前で検索します。
- 宛先の登録/編集、アクセス番号の入力を行います。

- 宛先の種別(全て/Eメール/ファクス/ファイル/グループ/Iファクス)を選択します。
- 宛先表(1～10)を選択します。
- アドレス帳(ローカル/リモート)を切り替えます。
- 登録されている宛先が表示されます。
- 宛先を頭文字で検索します。
- 宛先を名前で検索します。
- 宛先の登録/編集、アクセス番号の入力を行います。

C2230/C2220/C2218F-Vのアドレス帳に関する新機能

リモートアドレス帳のワンタッチボタン対応
サーバー機(他のimageRUNNER ADVANCEシリーズ)のワンタッチ宛先をクライアント機(本製品)から参照することができるようになりました。



ログインしているユーザー専用のフォルダーで、このフォルダーを宛先として指定できます。

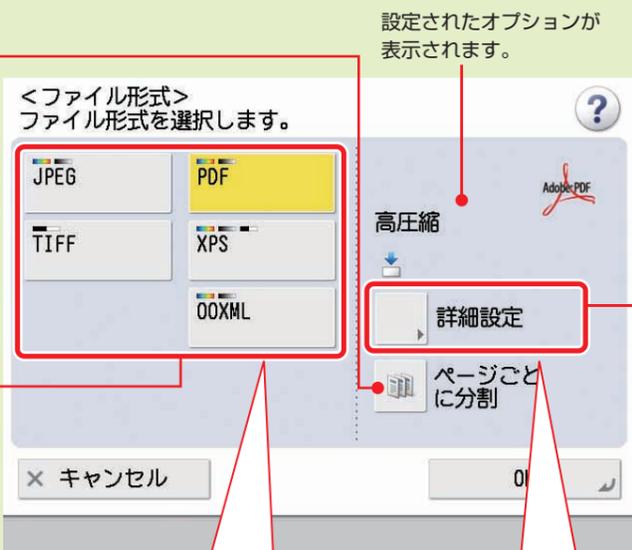
SSO-Hによる認証が設定されているとき、ログインユーザーのEメールアドレスを設定することができます。

紙文書を電子化するためのフォーマットとしてオフィスで幅広く使用されている PDFをはじめ、XPS、TIFF、JPEG、OOXML フォーマットに対応しています。PDF、XPS、TIFF、OOXML フォーマットなら複数ページの文書も1ファイルとして電子化が可能です。

●ファイル形式の選択のしかた

ファイル形式について

PDF、XPS、TIFF を選択した場合、ページごとにファイルを分割します。



ファイル形式を選択

設定されたオプションが表示されます。

<ファイル形式>
ファイル形式を選択します。

高圧縮

詳細設定

ページごとに分割

キャンセル

JPEG

カラーモードが白黒2値以外の場合に、JPEG形式に変換します。

TIFF

カラーモードが白黒2値の場合のみ、TIFF形式に変換します。

アウトライン PDF

文書中の文字や画像をアウトライン化した PDF に変換します。

高圧縮 PDF/XPS

高圧縮の PDF/XPS に変換します。ページが多い文書はファイル容量を大幅に小さくすることができます。

Linearized PDF※

Web 表示用に最適化され、ページ単位で表示されるためページ数の多い文書をアップするのに適しています。

Reader Extensions

閲覧用ソフトウェアとして配布されている Adobe Reader でも、注釈の付加などができるようになります。

OCR(文字認識) : サーチャブル PDF/XPS/OOXML

OCR 処理で文字情報が抽出されることにより、ファイル内の全文検索が可能になります。

ユーザー署名 PDF/XPS

作成する PDF/XPS ファイルにユーザー署名をつけます。

タイムスタンプ PDF

作成する PDF ファイルにタイムスタンプをつけます。

暗号化 PDF

作成する PDF ファイルにパスワードを設定して暗号化します。

機器署名 PDF/XPS

作成する PDF/XPS ファイルに機器署名をつけます。

PDF/A※

電子文書の長期保存を念頭に置いて策定された規格です。閲覧ソフトのバージョンなどに影響されず作成時の内容を損なうことなく閲覧・印刷することができます。

ポリシー付き PDF

Adobe Rights Management サーバーと連携し、アクセス権、期間、閲覧者などのセキュリティポリシーを任意に設定することができます。ポリシーは PDF 配布後に変更することも可能です。

色のファイルを作成するには、オプションのソリューション機能拡張キット・B1 が必要です。

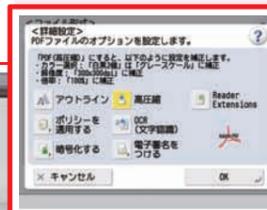
色のファイルを作成するには、オプションのユーザー署名 & タイムスタンプ拡張キット・A1 が必要です。

※ (設定 / 登録) → 「ファンクション設定」 → 「共通」 → 「ファイル生成」で設定を行います。

● スキャンして送信画面について(読み取りのしかた)



- 1 次の設定ができます。
・「よく使う設定」の登録
・「よく使う設定」の編集
・カスタムメニューに登録
・デフォルト設定の変更
・「その他の機能」のショートカット登録
・ユーザーごとの情報の登録 / 編集
[ユーザーごとの情報の登録 / 編集] は、SSO-H などのログインサービスでユーザー管理を行っている場合にのみ表示されます。
- 2 設定の履歴
設定されていた3つ前までの宛先、読み込み設定、送信設定を呼び出します。
- 3 よく使う設定
よく使う送信設定を登録します。登録した設定を呼び出すこともできます。
- 4 カラー選択
カラーモードを選択します。
- 5 解像度
解像度を指定します。
- 6 読取サイズ
原稿の読み取りサイズを指定します。
- 7 ファイル形式
ファイル形式を設定します。
- 8 「その他の機能」のショートカット
その他の機能のうち、いくつかをショートカットとして表示できます。デフォルトでは「両面原稿」、「原稿サイズ混載」が設定されています。
- 9 その他の機能
その他の機能を設定します。異なったサイズの原稿をいっしょに送信する場合や両面原稿を送信する場合など、便利な送信機能を設定します。



多くの人へ資料を配布しなければならないときなど、PDFにして一斉送信すれば、ペーパーレスで閲覧可能です。PDF/XPS/OOXMLのフォーマットには、電子化された文書を一層活用できる様々な追加機能を付加することができます。

文書の電子化のしかた

Example 文書を Readers Extensions 付の PDF にする

「スキャンして送信」からの操作



[スキャンして送信]を押す
宛先指定を行い、ファイル形式を選択する

「スキャンして保存」からの操作



[スキャンして保存]を押す [メモリーメディア]を押す 目的のスペースを選択する



保存先となる階層を選択して、[ファイル形式]を押す [原稿読込]を押す

以下、「スキャンして保存」からの表示画面で説明しています。

PDFを選択→[詳細設定]を押す [Reader Extensions]→[OK]を押す スタートキーを押す

左記の画面が表示された場合は、画面の指示に従って、原稿1枚ごとにスタートキーを押します。

原稿の読み込みが終了したら、[送信開始]（「スキャンして送信」の場合）もしくは[保存開始]（「スキャンして保存」の場合）を押す

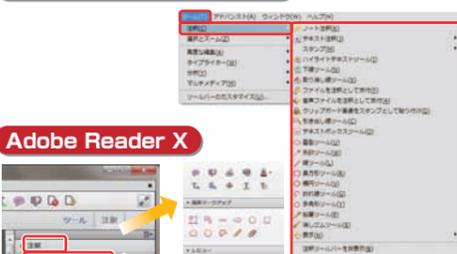
Reader Extensions 活用のメリット

紙文書をPDF化する際にオプションとしてReader Extensionsを選択すると、Adobe Reader(Adobe Reader7以降)でも注釈の追加や署名、修正などができるようになります。

スキャン
Reader Extensions 付きPDFを作成



Adobe Reader 7.0 以降



Adobe Reader X



注釈(ノート、コメント、スタンプ、ハイライトなど)の追加や修正/ファイル添付/署名などの機能が使用可能

Reader Extensionsを使用すれば、Adobe AcrobatなどのPDF編集ソフトがインストールされていないコンピュータでも署名や修正ができるため、これらの編集ソフトの導入コストを抑えることが可能です。

また、無償で提供されるAdobe Readerをインストールしておけば、誰でも簡単にPDF編集が行えるため、複数人数によるプロジェクトで、ファイルを共有し、素案文書などに各自コメントを入れてもらうなど、様々な活用方法が可能です。

Example OOXML形式で、Microsoft PowerPointで認識可能な文書を作成する

ファイル形式の選択画面



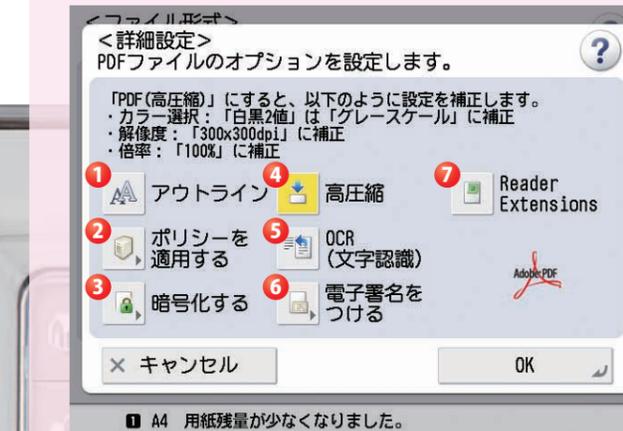
[OOXML]を選択、[詳細設定]を押す
→次画面で[OCR(文字認識)]を選択

利用目的

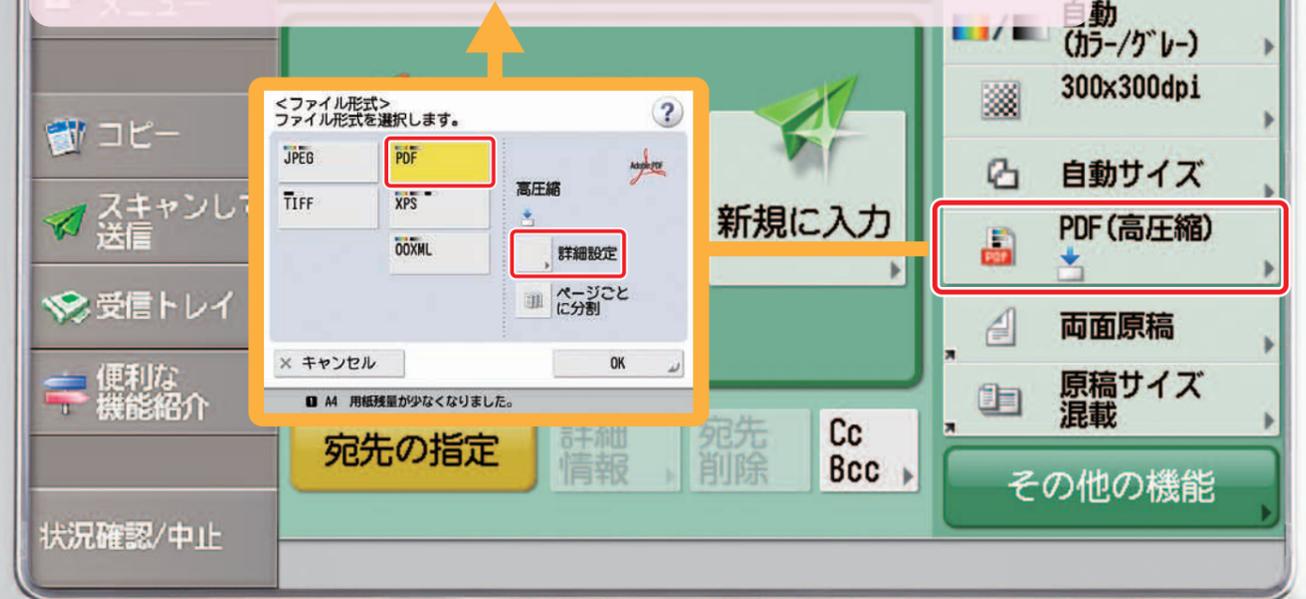


- ①画像を再利用する
- ②アウトライン(線画)を再利用する
- ③テキスト情報を再利用する

ファイル形式画面について



- 1 アウトライン PDF 作成時に使用します。
- 2 ポリシー付き PDF 作成時に使用します。
- 3 暗号化 PDF 作成時に使用します。
- 4 高圧縮 PDF 作成時に使用します。
- 5 OCR(文字認識)作成時に使用します。
- 6 電子署名付き PDF 作成時に使用します。
- 7 Reader Extensions 付き PDF 作成時に使用します。



本機に接続した USB メモリーに、スキャンした文書を PDF、JPEG、TIFF、OOXML いずれかのファイル形式で保存することができます。オプションのマルチメディアリーダー/ライター・A1 を装着することにより、SD カード、SDHC カード、CF カード、Microdrive、Memory Stick、Memory Stick Pro を利用することも可能です。

また同様な操作で、同じネットワークに接続されている imageRUNNER ADVANCE C5200 シリーズなどの親機(サーバー機)のアドバンスドボックスに保存することもできます(ネットワーク)。

保存のしかた

Example USB メモリーに保存する場合

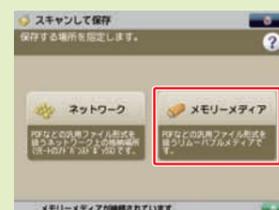
① USB メモリーを接続し、メモリーメディア画面を表示する



USB メモリーを接続する

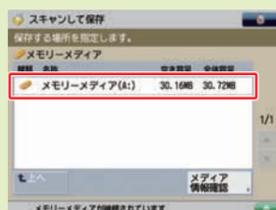


[スキャンして保存] を押す

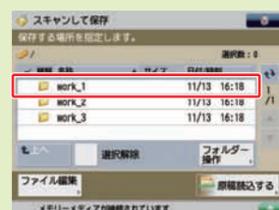


[メモリーメディア] を押す

② ファイルの保存先を指定して、原稿をセットする



保存する USB メモリーを選択する



保存するフォルダーを選択する

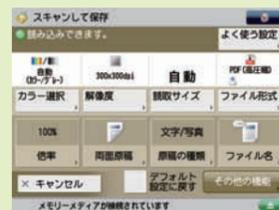


原稿をセットする

③ 読み込みのしかたを設定して、読み込みを開始する



[原稿読み込む] を押す



ファイル形式を設定し、読取りサイズなど、読み込みのしかたを設定してファイル名を入力する



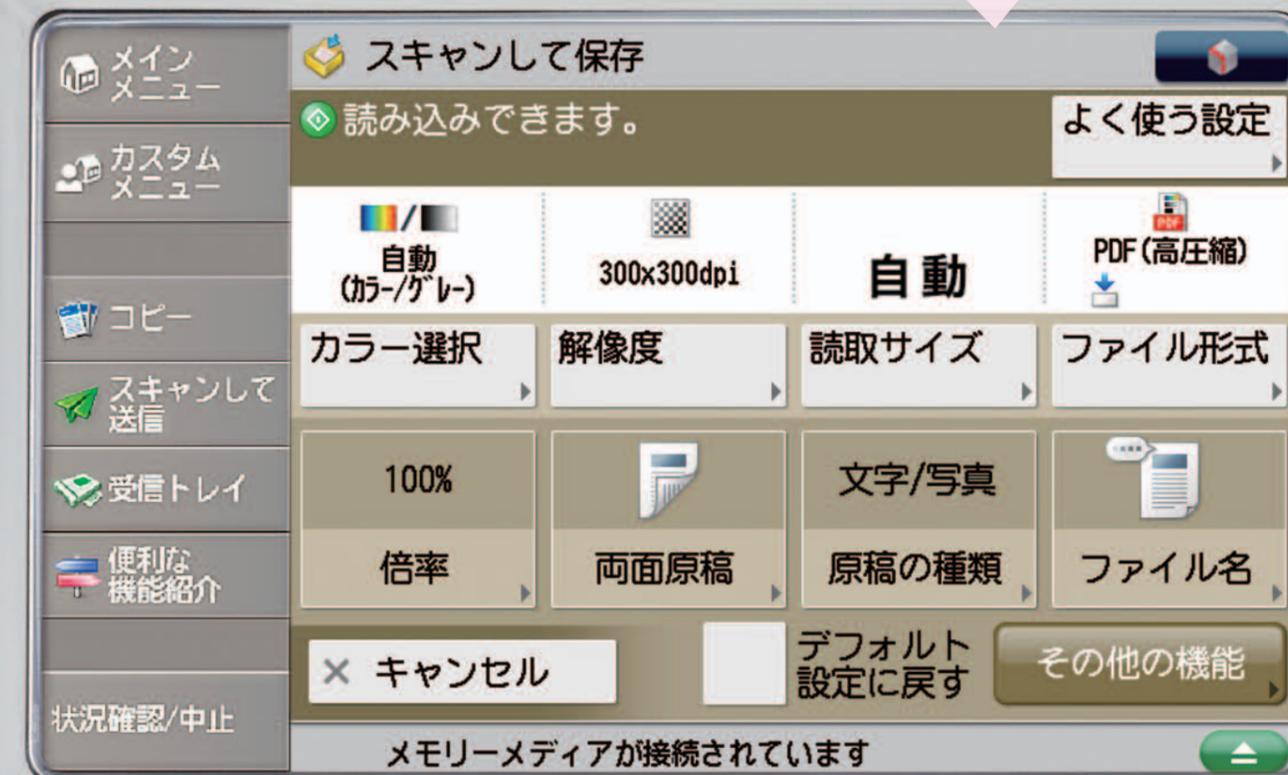
スタートキーを押す

NOTE マルチメディアリーダー/ライター・A2 を装着するには、USB デバイスポート・E2 が必要です。

読み込みのしかたの設定画面について



- 1 次の設定ができます。
・「よく使う設定」の登録/編集
・カスタムメニューに登録
・デフォルト設定の変更
- 2 よく使う設定
よく使う設定への登録や呼び出しをします。
- 3 カラー選択
読み込む原稿の色を選択します。
- 4 解像度
読み込む原稿の解像度を選択します。
- 5 読取りサイズ
読み込む原稿のサイズを選択します。
- 6 ファイル形式
保存するときのファイル形式を選択します。
- 7 倍率
読み込む原稿の倍率を設定します。
- 8 両面原稿
原稿を両面読み込みにします。
- 9 原稿の種類
原稿の種類(文字のみの原稿、写真のみの原稿、文字/写真混在の原稿など)を選択します。
- 10 ファイル名
ファイルの名称を入力します。
- 11 デフォルト設定に戻す
他のモードと一緒に設定を解除します。(スキャンして保存設定のデフォルトに戻ります。)
- 12 その他の機能
その他の機能を設定します。異なったサイズの原稿をいっしょに読み込むときや数回に分けてセットした原稿を読み込むときなど、便利な読み込み機能を設定できます。



本機に接続されている USB メモリーに保存されているファイルをプリントすることができます。
オプションのマルチメディアリーダー/ライター・A2を装着することにより、SD カード、SDHC カード、CF カード、Microdrive、Memory Stick、Memory Stick Pro に保存されているファイルをプリントすることも可能です。
また同様な操作で、同じネットワークに接続されている imageRUNNER ADVANCE C5200 シリーズなどの親機(サーバー機)のアドバンスドボックスに保存されているファイルをプリントすることができます(ネットワーク)。

保存ファイルのプリントのしかた

Example USB メモリーに保存されているファイルをプリントする場合

① USB メモリーを接続し、メモリーメディア画面を表示する



② プリントするファイルを選択する



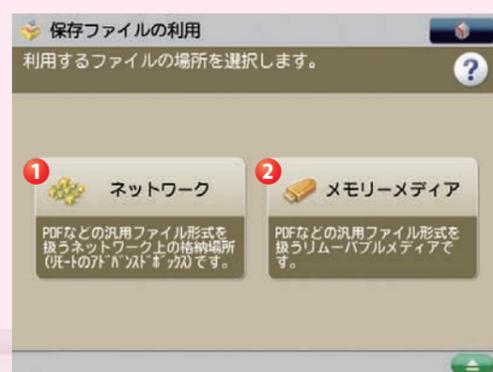
③ プリントのしかたを設定して、プリントを開始する



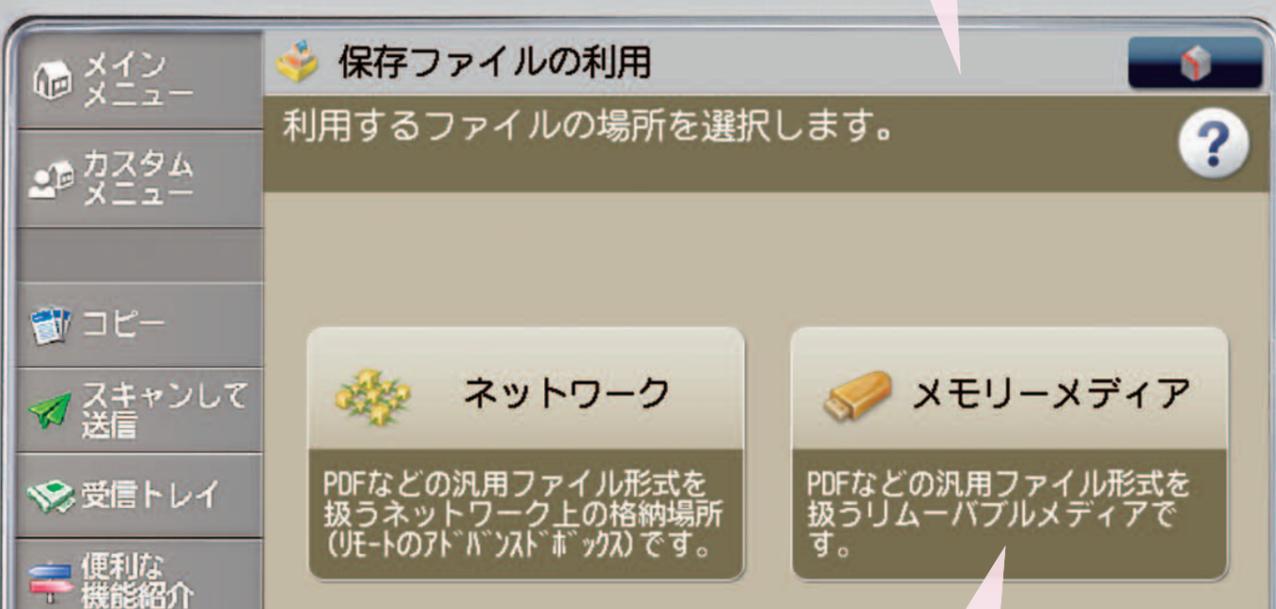
NOTE マルチメディアリーダー/ライター・A2を装着するには、USB デバイスポート・E2 が必要です。

NOTE USB メモリーおよびアドバンスドボックスから PDF ファイルをプリントする場合は、**ダイレクトプリント拡張キット(PDF/XPS 用)**が必要です。

保存ファイルの利用画面について



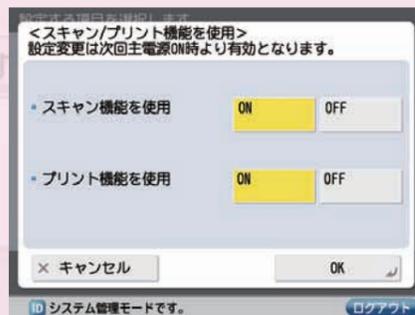
- 1 本製品からアクセス可能なネットワーク上にある他の imageRUNNER ADVANCE シリーズのメモリー領域(アドバンスドボックス)です。
[ネットワーク] から他の imageRUNNER ADVANCE シリーズのアドバンスドボックスを選択することによって、本製品から読み込んだ原稿を他の imageRUNNER ADVANCE シリーズのアドバンスドボックスへ保存したり、他の imageRUNNER ADVANCE シリーズのアドバンスドボックス内のファイルの本製品からプリントしたりできます。
- 2 本製品の USB ポートへ USB メモリーを接続して利用できる格納場所です。本製品から読み込んだ原稿を、コンピューターでも利用可能なファイル形式でメモリーメディアに保存したり、メモリーメディアに保存されているファイルの本製品からプリントしたりできます。



メモリーメディアについて

ファイルのプレビュー
ネットワークストレージと同様にメモリーメディア内では1文書ごとのプレビュー表示(画像表示)が可能です。

メモリーメディアでのファイル保存や印刷を制限する機能
管理者が使用環境に応じて、メモリーメディアへのファイル保存(「スキャン機能を使用(ON/OFF)」)、メモリーメディアからの印刷(「プリント機能を使用(ON/OFF)」)を設定できます。



設定／登録ボタンを押すことで、使用する環境に合わせてさまざまな設定を変更することができます。設定／登録は、目的や内容により「環境設定」、「調整／メンテナンス」、「ファンクション設定」、「宛先設定」、「管理設定」の大きく5つの項目に分類されています。また、システム管理者と一般ユーザーそれぞれが権限のある機能のみ操作できます。

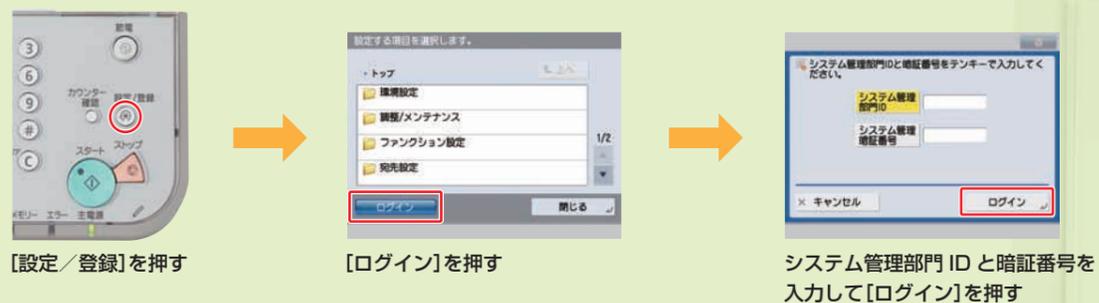
設定項目について

- 環境設定 : 用紙や画面表示、タイマーやネットワーク環境などを設定します。
- 調整／メンテナンス : 画質調整や本体内のクリーニングなどのメンテナンスを行います。
- ファンクション設定 : 各機能共通の設定やコピー、プリント機能などを設定します。
- 宛先設定 : アドレス帳の登録、ワンタッチの登録などを行います。
- 管理設定 : ユーザー管理やデバイス管理、ライセンス登録、データ管理などを行います。

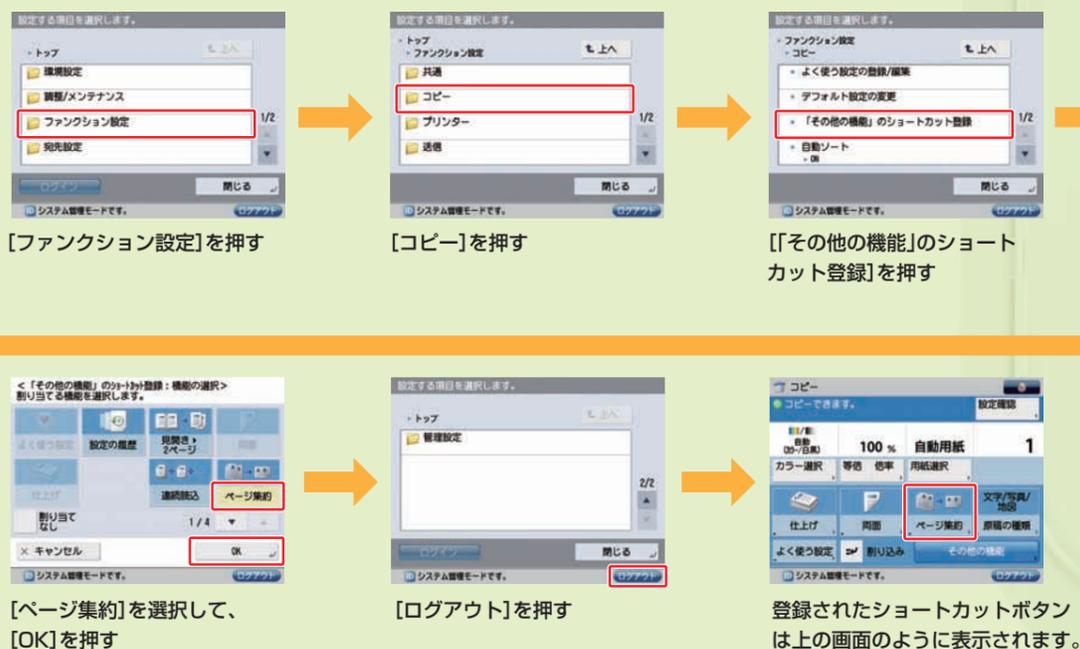
設定／登録のしかた

Example システム管理者でログインし、コピー画面に[ページ集約]のショートカットボタンを設定する場合

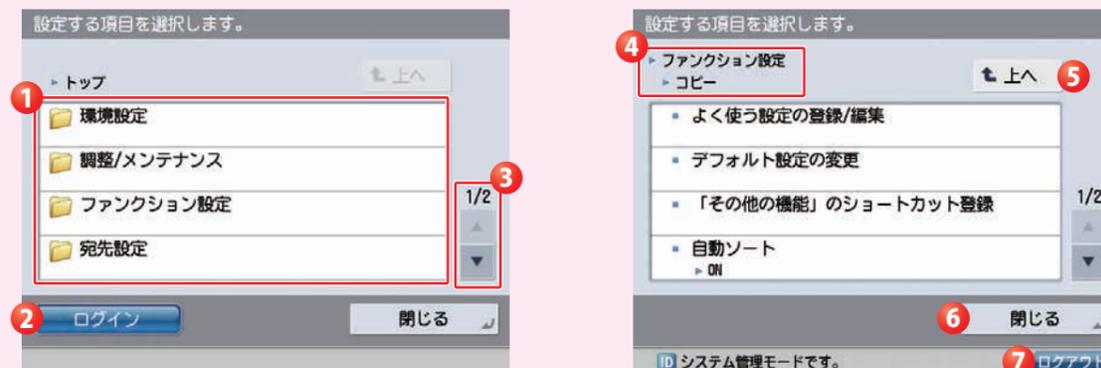
① システム管理者でログインする



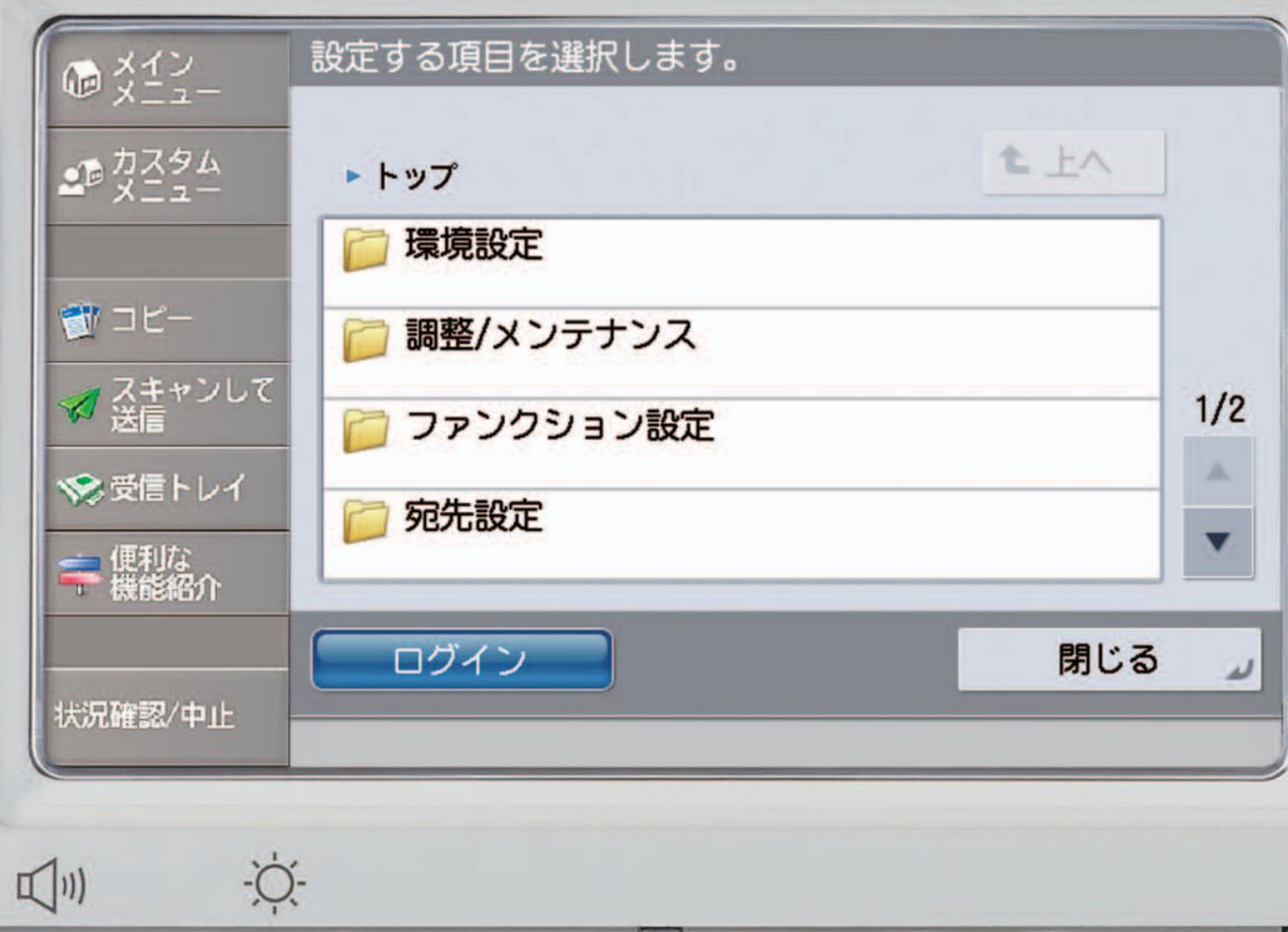
② ショートカットボタンを設定する



● 設定／登録の画面について



- 1 設定項目が表示されます。設定項目を押すと、次の階層に進みます。
- 2 管理者としてログインします。
- 3 設定項目表示をスクロールします。設定項目が1画面に表示しきれない場合、[▲][▼]を押して表示を切り替えます。
- 4 現在の階層を確認できます。
- 5 1つ上の階層に戻ります。
- 6 表示している画面を閉じて元の画面に戻ります。
- 7 ログアウトします。



リモートUIは、Web ブラウザーを使用してネットワークから本製品にアクセスし、デバイス状況やジョブ処理状況の確認、ジョブの操作、各種設定・登録を行うことができます。機械の前に行かなくても、離れた場所からご自分のPCで本製品を管理することができます。

リモートUIでのデバイス管理の操作方法

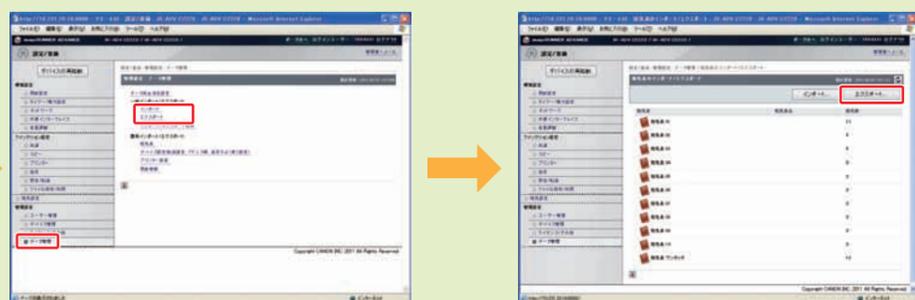
Example システム管理者としてログインし、宛先表のデータをエクスポートする場合

① リモートUIにログインして、「宛先のエクスポート」画面を表示する



リモートUIにアクセスし、システム管理部門IDと暗証番号を入力して[管理者ログイン]をクリックする

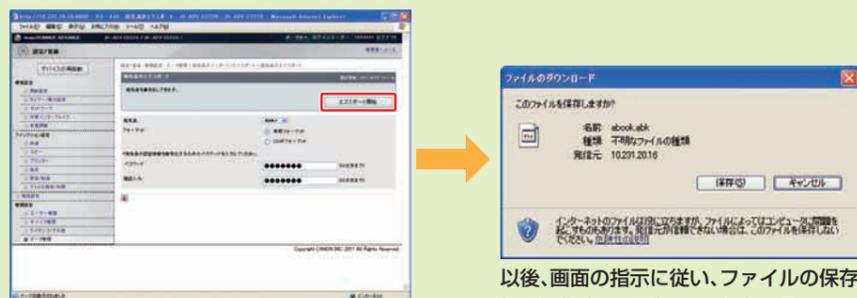
[設定／登録]をクリックする



[データ管理]をクリックして、[インポート／エクスポート]をクリックする

宛先表を選択し、[エクスポート]をクリックする

② 宛先をエクスポートする



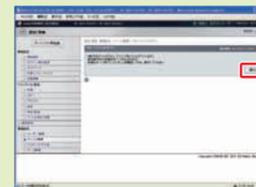
エクスポートする宛先表を選択し、ファイルの保存形式を選択して[エクスポート開始]をクリックする

以後、画面の指示に従い、ファイルの保存場所を指定してデータを保存する

保存したファイルは宛先表編集ツール*で編集可能です。
*Canon.jp からダウンロード(無償)

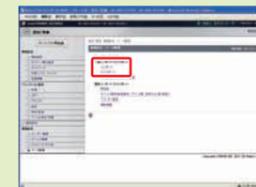
● リモートシャットダウン機能

リモートUIを利用して、遠隔(PC)からデバイスのシャットダウンを行うことができます。



● デバイス設定値の一括インポート・エクスポート

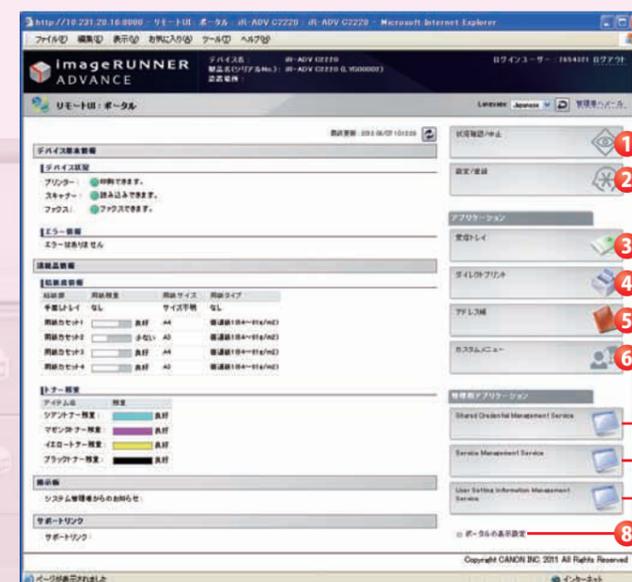
各種設定値を一括で保存(エクスポート)・復元(インポート)を行うことができます。



● ファイアウォール設定のポート番号指定機能

リモートUIからIPアドレスのフィルタ機能に加えて、ポート番号へのアクセスを制限する機能を追加しました。

● リモートUIのポータル画面について



- 1 処理しているジョブの状況確認や変更を行います。
- 2 各機能の登録/設定変更を行います。
- 3 受信したファクスを確認します。
- 4 ダイレクトプリントを行います。
- 5 アドレス帳を登録/変更します。
- 6 本体で設定したカスタムメニューをバックアップします。
- 7 ログインサービスの切り替え、MEAPアプリのインストール、ユーザー情報設定を行います。
- 8 ポータルページで表示されるアプリケーションの順番を変更できます。

● 設定／登録の画面について

- 1 デバイスを再起動させるときにクリックします。
- 2 [環境設定] 用紙や画面表示、タイマーやネットワーク環境の設定などを行います。
- 3 [ファンクション設定] 各機能共通の設定やコピー、プリント機能の設定などを行います。
- 4 [宛先設定] アドレス帳の登録、ワンタッチの登録などを行います。
- 5 [管理設定] ユーザー管理やデバイス管理、ライセンス、データ管理などを行います。
- 6 設定項目の内容が表示され、機能の設定や登録データの入力などを行います。



Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社